



2021年11月10日

会社名 株式会社Sun Asterisk
(コード4053:マザーズ)
東京都千代田区神田紺屋町45番地1
代表取締役 小林 泰平
問合せ先 取締役 服部 裕輔
Mail: ir@sun-asterisk.com

2021年12月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年2月10日に公表した2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の業績予想を下記の通り修正することを決議致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,608	1,100	1,153	983	26.70
今回修正予想(B)	8,081	1,239	1,346	1,168	30.95
増減額(B-A)	1,473	139	193	185	4.25
増減率(%)	22.3	12.6	16.7	18.8	15.9
(ご参考)前期実績	5,367	886	926	804	22.93

2. 修正の理由

当社グループは、あらゆる産業のデジタルイゼーションを促進するため、新たな事業やプロダクトを共創するサービスを「デジタル・クリエイティブスタジオ事業」と命名し、単一セグメントである当事業を「クリエイティブ&エンジニアリング」と「タレントプラットフォーム」の2つのサービスラインに区分し取り組んでいます。当期は、2021年2月10日に、業績予想として売上高6,608百万円、営業利益1,100百万円と予想し公表いたし

ました。

当期の第3四半期累計実績は、主力の「クリエイティブ&エンジニアリング」の売上高が顧客単価の好調な推移により4,826百万円（前年同期比51.5%増）となり、「タレントプラットフォーム」の売上高が企業の採用ニーズの回復を受け897百万円（前年同期比14.7%増）となったことを受け、全体の売上高は、5,723百万円（前年同期比44.2%増）と高い成長を続けています。

また、受注増加に対する積極的な人員採用を進め、新しい収益モデルの事業への投資も進める一方、生産性の向上により販管費比率は低下し、営業利益は1,129百万円（前年同期比62.8%増）となりました。また各段階の利益は2021年2月10日時点の業績予想に対する進捗率についても100%強となり、達成がほぼ確実な状況となっております。

以上の状況より、第4四半期の業績見通しを加算し、来期以降の更なる成長に向けた人材採用やR&Dへの投資等のコストも勘案した結果、2021年12月期通期の業績予想について上方修正が必要な状況にあると判断致しました。2021年12月期通期の売上高は8,081百万円（前年同期比50.6%増）、営業利益は1,239百万円（前年同期比39.8%増）、経常利益は1,346百万円（前年同期比45.3%増）、当期純利益は1,168百万円（前年同期比45.2%増）を予想しております。

【業績予想に関する留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。